

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月31日

愛媛県知事
中村 時広 殿

提出者

住 所 愛媛県新居浜市磯浦町16-6
氏 名 三井住友建設株式会社 四国支店
支店長 黒川 尚徳

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0897335558

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井住友建設株式会社 四国支店		
事業場の所在地	愛媛県新居浜市磯浦町16-6		
事業の種類	建設業		
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	37308.17 t	全処理委託量	37308.17 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	34235.63 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	25988.59 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

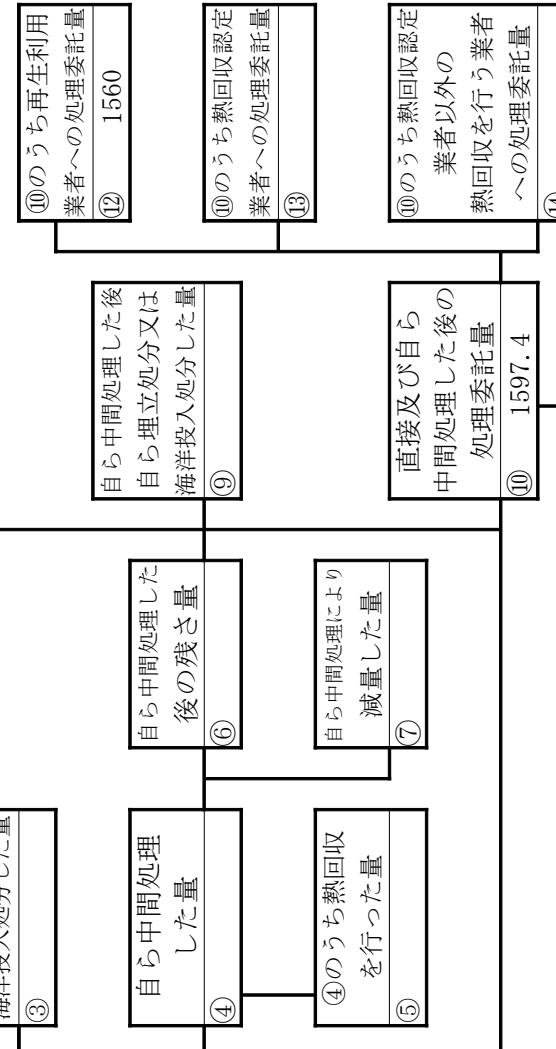
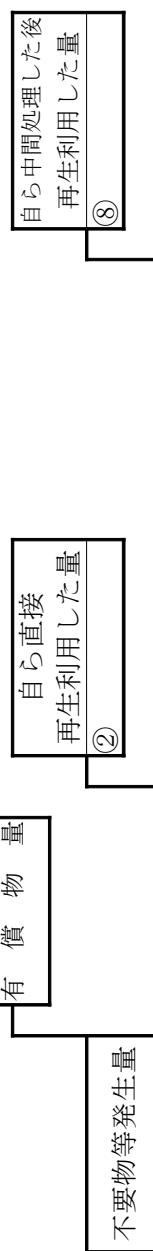
(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : (1)燃え殻)
有 債 物 量	自ら直接再生利用した量 ②	自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧
不 物 等発生量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③	⑪のうち再生利用率への処理委託量 ⑫
排 出 量 ① 935.71	自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨
	自ら中間処理した後の残さ量 ⑥	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬
	④のうち熱回収を行った量 ⑤	⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭
	自ら中間処理により減量した量 ⑦	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩ 935.71
	⑤自ら熱回収を行った量 ⑥自ら中間処理により減量した量 ⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑧自ら直接再生利用を行った量 ⑨自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑩全処理委託量 ⑪優良認定処理業者への処理委託量 ⑫再生利用業者への処理委託量 ⑬熱回収認定業者への処理委託量 ⑭熱回収を行う業者への処理委託量	⑪のうち優良認定業者への処理委託量 ⑫

(産業廃棄物の種類：(2)汚泥)

計画の実施状況

項目	実績値
①排出量	1597.4
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1597.4
⑪優良認定業者への処理委託量	1560
⑫再生利用業者への処理委託量	1560
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0

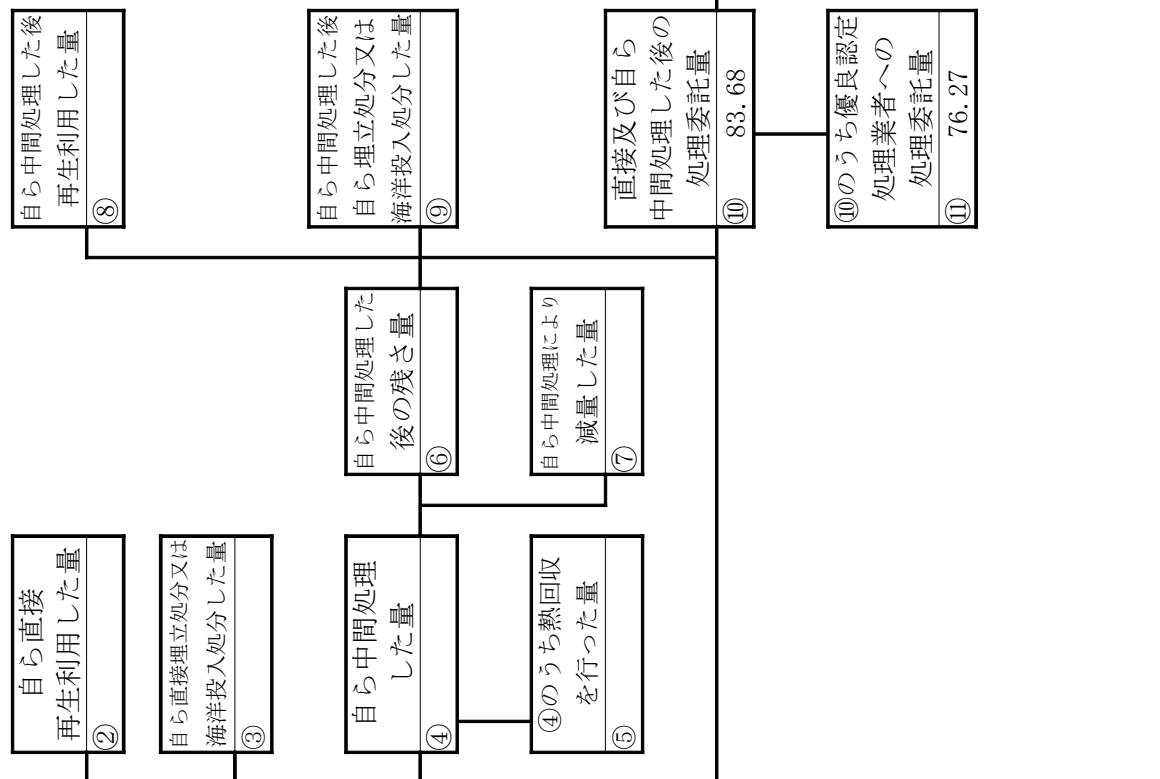


)

(産業廃棄物の種類：(6)廃プラスチック類)

計画の実施状況

項目	実績値	
①排出量	83.68	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら中間処理により行つた量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行つた量	0	
⑩全処理委託量	83.68	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	76.27	
⑫再生利用業者への処理委託量	76.27	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0	



(第2面)

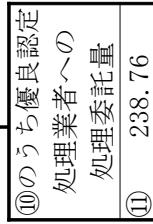
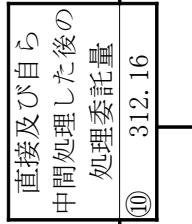
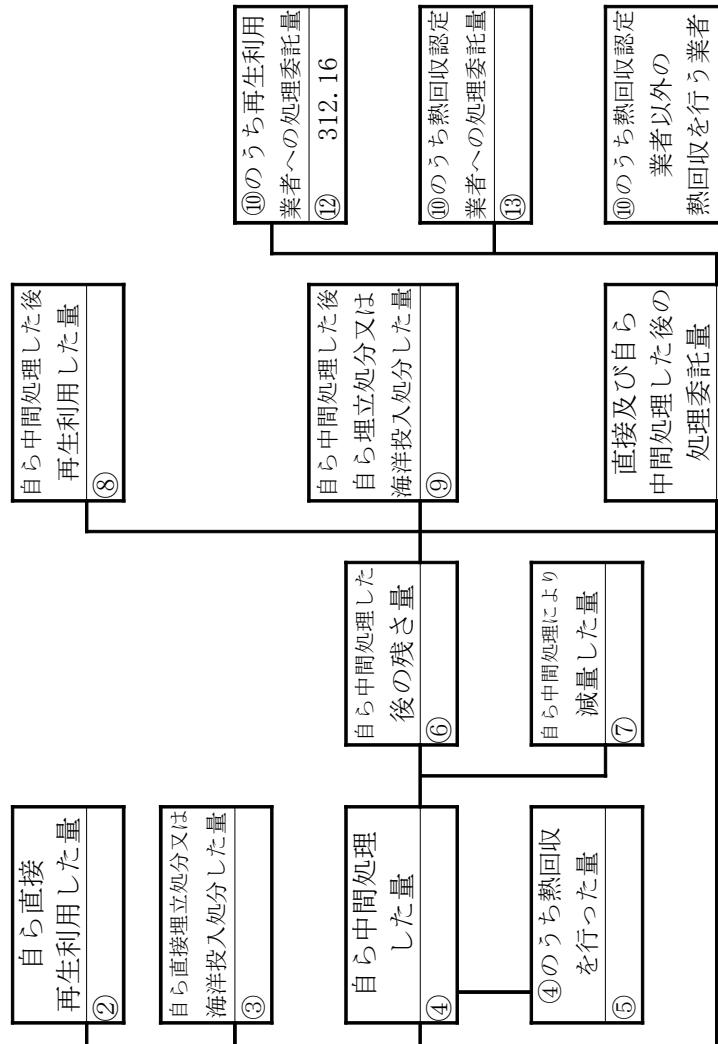
計画の実施状況		(産業廃棄物の種類：(13)紙くず)	
有 債 物 量		自ら直接再生利用した量 ②	自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧
不 領 物 等 発 生 量		自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨
排 出 量	① 1.39	自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑬
項 目	実 績 値	自ら中間処理した後の残さ量 ⑥	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑩
①排出量	1.39	④のうち熱回収を行った量 ⑤	自ら中間処理により減量した量 ⑦
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	④のうち熱回収を行った量 ⑤	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩
⑤自ら熱回収を行った量	0	④のうち熱回収を行った量 ⑤	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑪
⑦自ら中間処理により減量した量	0	自ら中間処理により減量した量 ⑦	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑫
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	自ら中間処理により減量した量 ⑦	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑬
⑩全処理委託量	1.39	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑪	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑭
⑪優良認定業者への処理委託量	0.51	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑫	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑮
⑫再生利用業者への処理委託量	1.39	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑬	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑯
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑭	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑰
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑮	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑱

計画の実施状況

)

(産業廃棄物の種類：(14)木くず)

項目	実績値	
①排出量	312.16	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩全処理委託量	312.16	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	238.76	
⑫再生利用業者への処理委託量	312.16	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0	

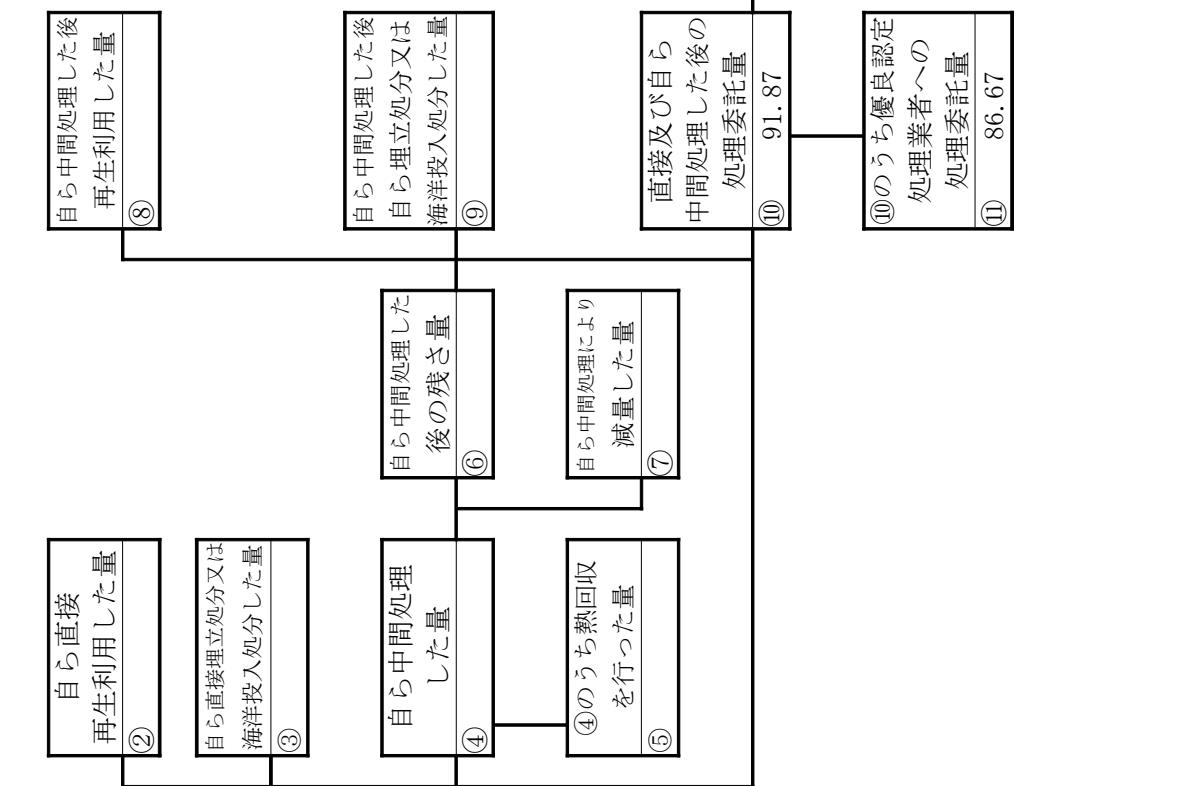


(14)

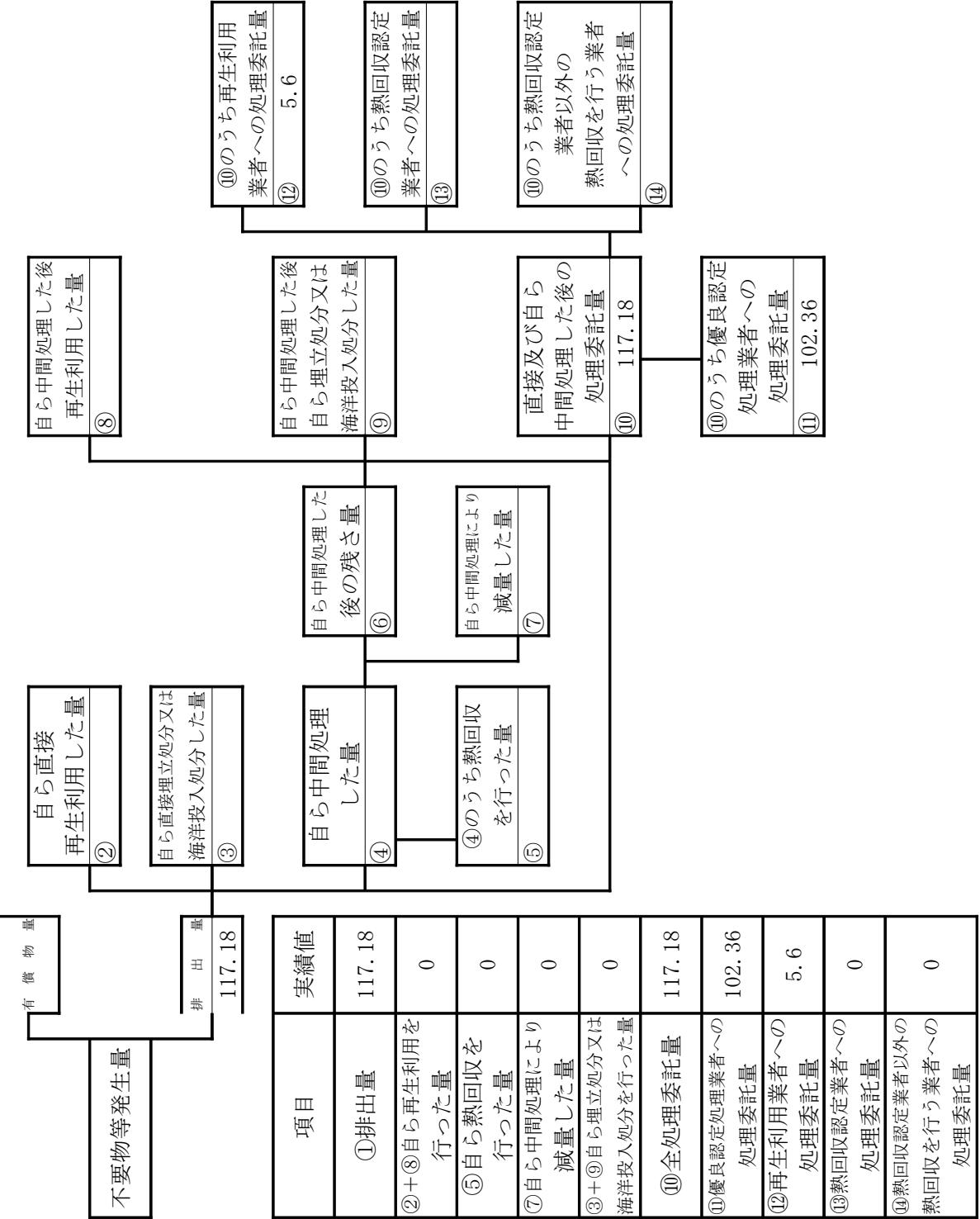
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：(8) 金属くず)

項目	実績値
①排出量	91.87
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	91.87
⑪優良認定業者への処理委託量	86.67
⑫再生利用業者への処理委託量	91.87
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行いう業者への処理委託量	0



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：(9)ガラス・コンクリート・陶磁器くず)

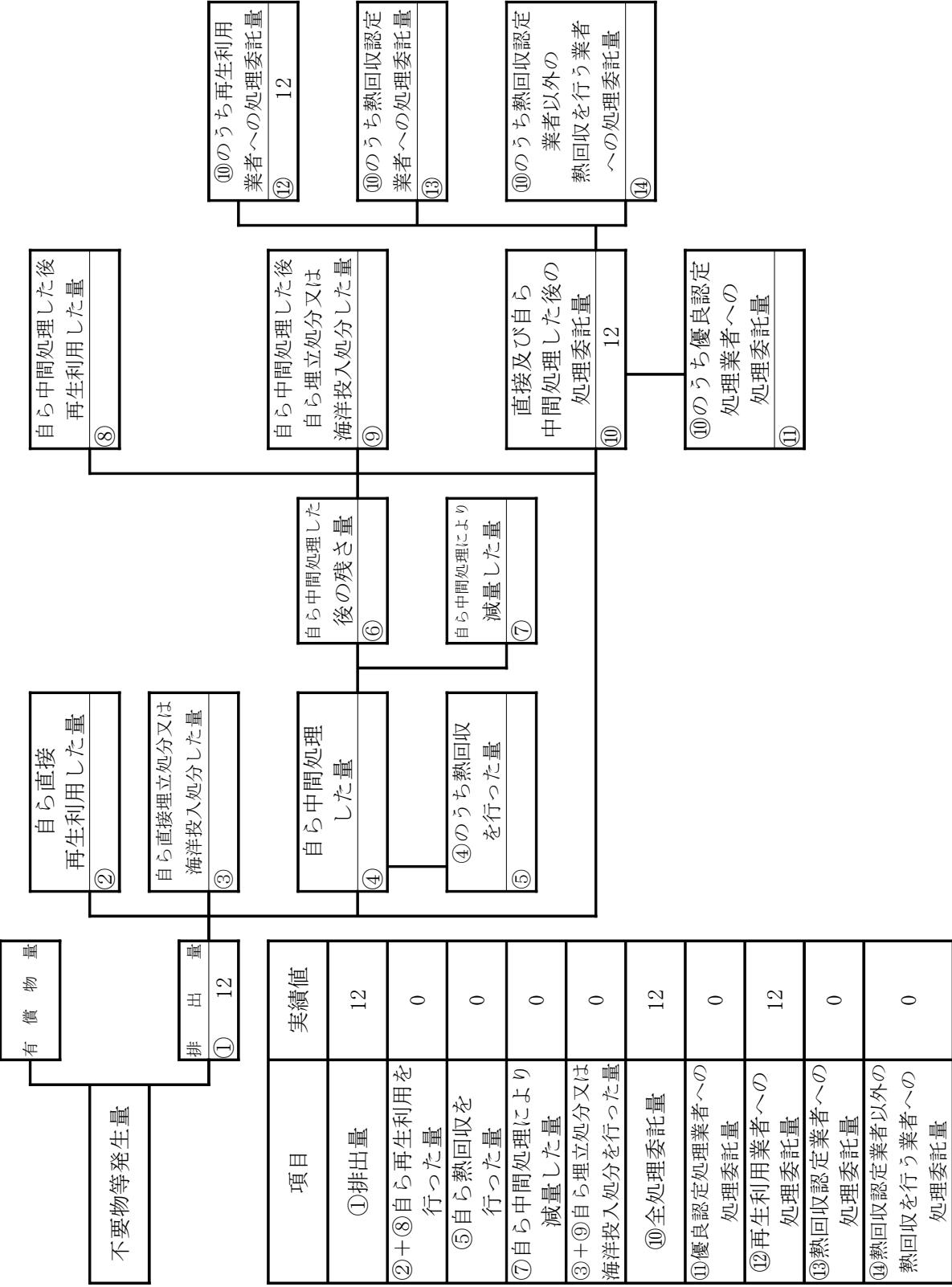


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：(10) 鉱さい

1

(第2面)

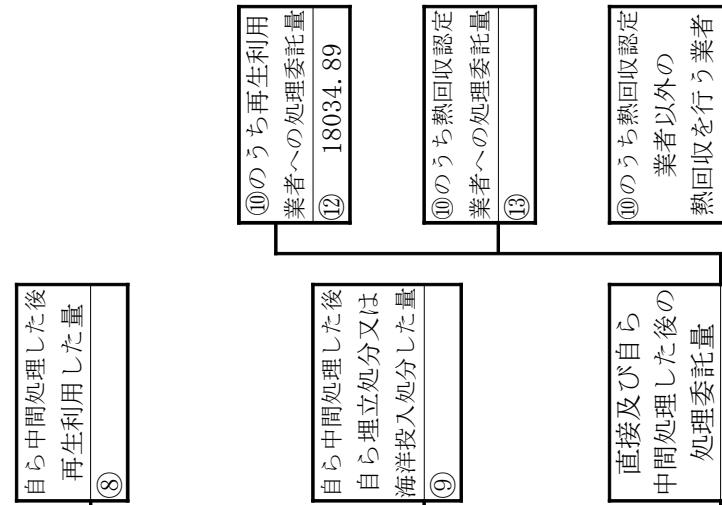
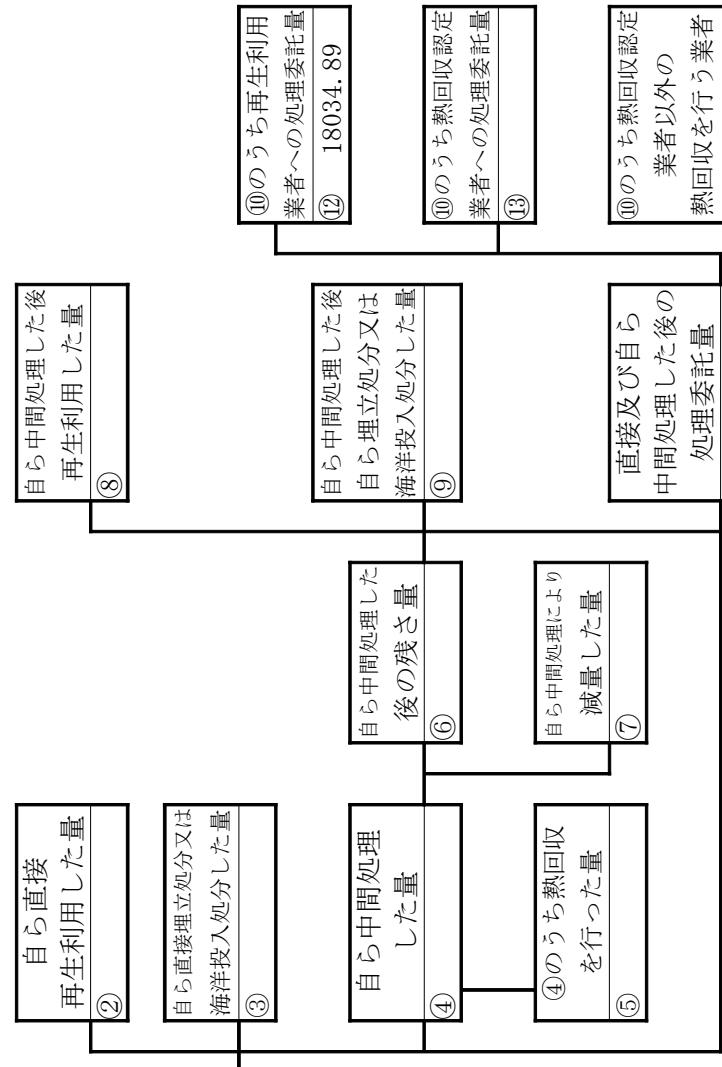


)

(産業廃棄物の種類：(11)がれき類)

計画の実施状況

項目	実績値	
①排出量	18174.29	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩全処理委託量	18174.29	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15000.68	
⑫再生利用業者への処理委託量	18034.89	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭熱回収を行いう業者への処理委託量	0	



計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : (21)その他 建設混合廃棄物 (管理型))	
有 債 物 量	自ら直接 再生利用した量 (②)	自ら中間処理した後 再生利用した量 (⑧)	
不 要 物 等 発 生 量	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 (③)	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 (⑨)	
排 出 量	自ら中間処理 した量 (④)	自ら中間処理した 後の残さ量 (⑥)	
項目	実績値		
①排出量	746.58		
②+⑧自ら再生利用を行った量	0		
⑤自ら熱回収を行った量	0		
⑦自ら中間処理により 減量した量	0		
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0		
⑩全処理委託量	746.58		
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	627.06		
⑫再生利用業者への 処理委託量	76.39		
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0		
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0		
⑩のうち再生利用 業者への処理委託量 (⑫)	76.39		
⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 (⑬)			
⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 (⑭)			
⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 (⑫)	627.06		

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

- (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
- (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
- (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
- (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
- (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
- (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
- (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
- (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
- (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
- (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
- (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令

第6条の11第2号に該当する者への処理委託量

- (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
- (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律

第15条の3の3第1項の認定を受けた者である処理業者への焼却処理委託量

- (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への
焼却処理委託量

- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃

棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

- 7 ※欄は記入しないこと。